4-122-062-**02**(1)

Bluetooth® ワイヤレス
オーディオアダプター

取扱説明書

TDM-BT10

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DIGITAL
MEDIA
PORT

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 変な音、においがしたら
- 煙が出たら
- 液漏れしたら

➡

❶ 電源コンセントから電源プラグを抜く。

❷ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に修理を依頼する。

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

機器は電源コンセントの近くでお使いください。異常な音やにおい、煙がでたときはすぐに電源コンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

目次

⚠警告

下記の注意を守らないと
火災・感電により**死亡**や**大けが**
の原因となります。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、接続している機器からDIGITAL MEDIA PORTケーブルを抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

内部をむやみに開けない。

本体はむやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でさわらない。

感電の原因となることがあります。

本体を布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない。

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。

端子を金属でショートさせない。

火災や感電の原因となります。

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

指定以外の機器に使わない。

火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に置く。

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する。

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

本機を航空機内で使わない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

次のページにつづく

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetooth機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

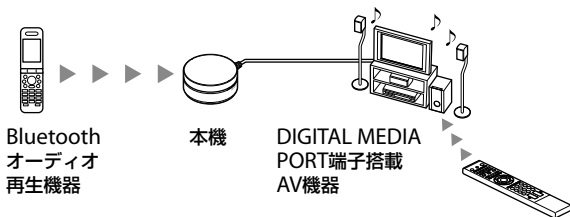
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

こんなことができます

本機は、Bluetooth（ブルートゥース）無線技術を利用したワイヤレスオーディオアダプターです。

- Bluetooth対応オーディオ再生機器(携帯電話、デジタルミュージックプレーヤー、Bluetoothトランスミッターを接続したデジタルミュージックプレーヤーなど)*1の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。
- Bluetooth対応オーディオ再生機器の基本的なリモコン操作*2（再生・停止など)ができます。
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくいBluetooth標準規格Ver.2.0 + EDR採用
- DIGITAL MEDIA PORT端子（DMPORT端子）搭載のAV機器にワンタッチで接続できます。

*1 接続するBluetoothオーディオ再生機器が、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応している必要があります。
*2 接続するBluetoothオーディオ再生機器が、AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応している必要があります。

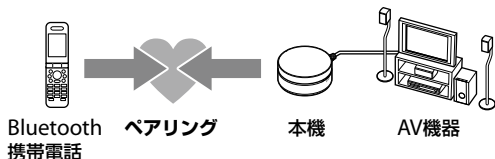
ご注意

Bluetoothオーディオ再生機器の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

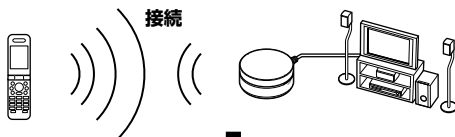
操作の流れ

ここでは、音楽再生機能に対応したBluetooth携帯電話から送信する音楽を本機で受信し、本機に接続したAV機器で聞く場合を例として説明します。

1.ペアリングする

Bluetooth携帯電話と本機を接続相手として登録します。

詳しくは12ページをご覧ください。

2.Bluetooth接続する

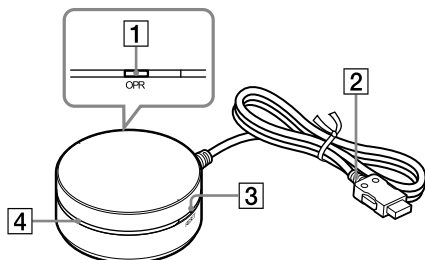
Bluetooth携帯電話を操作して、Bluetooth接続します。

3.音楽を聞く

Bluetooth携帯電話で再生した音楽を、本機とつないだAV機器で楽しめます。音楽の再生、一時停止などをAV機器のボタンやリモコンを使って操作できます。

詳しくは15ページをご覧ください。

本体と付属品を確かめる

- Bluetooth ワイヤレスオーディオアダプター（1）
- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

各部の名前

1 OPRボタン(12、16ページ)

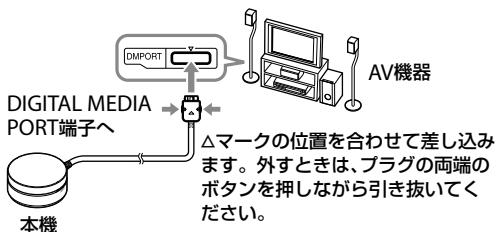
2 DIGITAL MEDIA PORTケーブル(11ページ)

3 RESETボタン(23ページ)

4 通信状態表示ランプ

状態	ランプ
待機中	2秒間点灯したあと消灯
ペアリングモード	非常に速く点滅*
接続可能	ゆっくり点滅*
接続中	点灯
切断処理中	速く点滅*

* 接続したAV機器のファンクションがDMPORT以外になっているときは消灯します。

AV機器に接続する

1 **AV機器の電源を切り、本機のDIGITAL MEDIA PORTケーブルをAV機器のDIGITAL MEDIA PORT端子（DMPORT端子）に接続する。**

2 **接続したAV機器の電源を入れ、ファンクションをDMPORTに切り替える。**

本機のランプが2秒間点灯し、待機状態になります。
DIGITAL MEDIA PORT機能の選択について詳しくは、お使いのAV機器の取扱説明書をご覧ください。

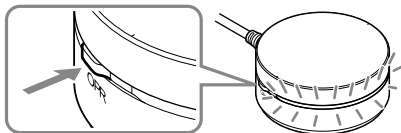
ペアリングする

ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。
  本機はBluetoothオーディオ再生機器を合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。（23ページをご覧ください）

操作をはじめる前に、接続したAV機器のファンクションがDMPORTになっていることをご確認ください。

1 OPRボタンを3秒以上押し続ける。

本機のランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。本機がペアリングモードになります。

ご注意

本機のペアリングモードは、約5分で自動的に解除されます。手順が完了する前にペアリングモードが解除されてしまった場合やOPRボタンを押してペアリングを途中で止めた場合は、もう一度手順1から操作を行ってください。

2 Bluetoothオーディオ再生機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

検出した機器の一覧がBluetoothオーディオ再生機器の画面に表示されます。本機は「TDM-BT10」と表示されます。
「TDM-BT10」と画面に表示されない場合は、もう一度手順1から操作を行ってください。

ご注意

- ペアリングするときは、両方のBluetooth機器を、1 m以内に置いてください。
- 機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。
- Bluetoothオーディオ再生機器の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 Bluetoothオーディオ再生機器の画面に表示されている「TDM-BT10」を選択し、決定する。

4 Bluetoothオーディオ再生機器の画面でパスキー *の入力を要求されたら「0000」を入力する。

ペアリングが完了すると、ランプがゆっくり点滅し、ペアリング情報が本機に記録されます。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

次のページにつづく

5 接続相手のBluetoothオーディオ再生機器から Bluetooth接続してみる。

お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続を開始する場合があります。

ご注意

Bluetooth接続が完了する前に本機またはBluetoothオーディオ再生機器の電源を切った場合、ペアリング情報が記録されず、ペアリングが完了しません。

検出した機器の一覧を表示できないBluetoothオーディオ再生機器や画面がない機器とペアリングするときは

本機とBluetoothオーディオ再生機器の両方をペアリングモードにすることでペアリングできる場合があります。詳しくは、お使いのBluetoothオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順1から行ってください。

ヒント

複数のBluetoothオーディオ再生機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順1〜5を繰り返してください。

ご注意

本機のパスキーは「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBluetoothオーディオ再生機器とペアリングすることはできません。

音楽を聞く

本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、本機で聞くことができます。

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
– Bluetoothオーディオ再生機器のBluetooth機能が有効になっている。
– 本機とBluetoothオーディオ再生機器のペアリングが完了している。
– Bluetoothオーディオ再生機器が音楽送信機能に対応している（プロファイル：A2DP*）。
* プロファイルについて詳しくは、20ページをご覧ください。
– 接続したAV機器のファンクションがDMPORTになっている。

1 本機のランプがゆっくり点滅していることを確認する。

ご注意

ランプが消灯している場合は、OPRボタンを押すか、ペアリングをやり直してください。

2 Bluetoothオーディオ再生機器から本機へ、Bluetooth接続を開始する。

Bluetoothオーディオ再生機器の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 Bluetoothオーディオ再生機器で音楽の再生を始める。

ご注意

Bluetooth接続が成功すると、本機のランプが点灯します。

使い終わるには

以下の手順のいずれかでBluetooth接続を切断してください。
– Bluetoothオーディオ再生機器を操作して接続を切断する。詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
– Bluetoothオーディオ再生機器、またはAV機器の電源を切る。
– OPRボタンを押す。切断が完了するとランプはゆっくり点滅します。

ご注意

以下の場合、もう一度Bluetooth接続をする必要があります。
– Bluetooth接続が切断されている。
– Bluetoothオーディオ再生機器の電源が切れている、またはBluetooth機能が無効になっている。
– Bluetoothオーディオ再生機器のBluetooth機能がスリープ状態になっている。
– Bluetooth接続に失敗している。

Bluetooth機能を無効にするには

Bluetoothオーディオ再生機器とのBluetooth接続を切断しても、本機は電波を送信し続けます。以下の手順で本機からの電波の送信を完全に停止し、Bluetooth機能を無効にすることができます。
– ランプ点灯時（Bluetooth接続中）
OPRボタンを押してBluetoothオーディオ再生機器とのBluetooth接続を切断する（ランプは点滅します）。もう一度OPRボタンを押して本機からの電波の送信を停止する（ランプは消灯します）。
– ランプ点滅時（Bluetooth接続可能状態）
OPRボタンを押して本機からの電波の送信を停止する（ランプは消灯します）。

Bluetooth オーディオ再生機器を操作する　－ AVRCP

Bluetoothオーディオ再生機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応している場合は、AV機器のボタンやリモコンで、Bluetoothオーディオ再生機器の操作ができます。

ご注意

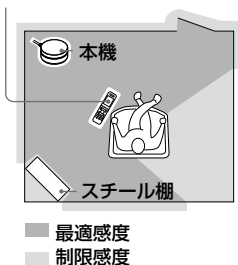
Bluetoothオーディオ再生機器の対応機能については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

ボタン	操作
►	再生
❚❚/■	一時停止/停止
⏮/⏭ 短押し	曲戻し/曲送り
⏮/⏭ 長押し	早戻し/早送り
◄◄/►►	早戻し/早送り

Bluetoothオーディオ再生機器によっては、操作が異なる場合があります。

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。

- Bluetooth通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  - 本機とBluetoothオーディオ再生機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
  - 金属製の机に本機の側面を横にして設置している場合
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本機と携帯電話を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
  - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
  - 本機とBluetoothオーディオ再生機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機のBluetooth接続の切断のしかたについて詳しくは、「Bluetooth機能を無効にするには」(16ページ)をご覧ください。

- 本機は、Bluetooth技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機能対応機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
- ほこりの多い所
- ぐらついた台の上や傾いた所
- 振動の多い所
- 風呂場など、湿気の多い所
- 車内など直射日光の当たる場所

携帯電話と使用する場合のご注意

- 本機と携帯電話をBluetooth接続しても、通話に使用することはできません。
- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

その他のご注意

他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

Bluetooth技術について

Bluetooth無線技術は、携帯電話やデジタルミュージックプレーヤーなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使う*こともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

* 本機では一度に複数の機器を接続することができません。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン：
Bluetooth標準規格Ver. 2.0 + EDR準拠

対応Bluetoothプロファイル：
– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
– AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

音が出ない

➡ 本機とAV機器が正しく接続されているか確認する。

➡ 本機を接続しているAV機器とBluetoothオーディオ再生機器の電源が入っているか確認する。

➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の同一周波数帯（2.4 GHz）を使用する無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。

➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器が正しくBluetooth接続されているかどうか確認する。

➡ AV機器の音量が小さすぎないか確認する。

➡ Bluetoothオーディオ再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。
音量の調節については、Bluetoothオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器を再度ペアリングする。

➡ Bluetoothオーディオ再生機器側で音楽が再生されているか確認する。

音が小さい

➡ Bluetoothオーディオ再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。
音量の調節については、Bluetoothオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

➡ AV機器の音量を上げる。

音がひずむ

➡ Bluetoothオーディオ再生機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。

➡ Bluetoothオーディオ再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。
詳しくは、Bluetoothオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

音が途切れたり、通信距離が短い

- ➡ 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。
- ➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- ➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器をできるだけ近付ける。
- ➡ 本機の位置を変える。
- ➡ 接続相手のBluetoothオーディオ再生機器の位置を変える。

ペアリングできない

- ➡ 本機とBluetoothオーディオ再生機器をできるだけ近付ける。
- ➡ Bluetoothオーディオ再生機器のパスキーが「0000」か確認する。
- ➡ 使用していないBluetooth機器のBluetooth機能を無効にする。

Bluetoothオーディオ再生機器から本機へ接続できない

- ➡ 使用していないBluetooth機器のBluetooth機能を無効にする。

映像より音が遅れる

- ➡ テレビやDVDを見ている場合、音声が映像より遅れて聞こえる場合があります。

本機を初期化する

本機を工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 **本機とBluetoothオーディオ再生機器がBluetooth接続されている場合は、OPRボタンを押して接続を切る。**

2 **クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。**

ランプが2回点滅し、本機が工場出荷設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBluetoothワイヤレスオーディオアダプターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

概要

通信方式
Bluetooth標準規格Ver. 2.0 + EDR（Enhanced Data Rate）

出力
Bluetooth標準規格Power Class 2

最大通信距離
見通し距離約10 m*[1]

使用周波数帯域
2.4 GHz 帯
（2.4000 GHz － 2.4835 GHz）

変調方式
FHSS

対応Bluetoothプロファイル*[2]
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）

対応コーデック*[3]
SBC*[4]、MP3

対応コンテンツ保護方式
SCMS-T

伝送帯域（A2DP）
20－20,000 Hz（44.1 kHzサンプリング時）

DIGITAL MEDIA PORTコネクター
18ピン

DIGITAL MEDIA PORTケーブル長
約1 m

電源
DC 5 V、0.1 A（DIGITAL MEDIA PORTから供給）

最大外形寸法
約44 × 16 mm（直径/高さ）

質量
約55 g（ケーブル含む）

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。
*3 音声圧縮変換方式のこと
*4 Subband Codecの略

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

"DIGITAL MEDIA PORT"、"DMPORT"は様々なポータブルオーディオ機器とソニーのAV商品とを接続する規格の名称です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨**
  ホームシアターカスタマーサポート
  (http://www.sony.jp/products/Consumer/hometheater/support.html)
  または
  AV/HiFi Audio**カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.jp/products/Consumer/AV-HiFi/support/index.html)
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  – 型名：TDM-BT10
  – 製造（シリアル）番号：本体底面のラベルに記載
  – ご相談内容：できるだけ詳しく
  – お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	**修理相談窓口**
フリーダイヤル ･････････････0120-333-020	フリーダイヤル ･････････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2531
	※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「301」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

(1)